

未来を創り出せる子供をみんなの力で育てる

それが「はままつの人づくり」

平成30年度全国学力・学習状況調査 浜松市の結果より

将来の夢や 目標を持っている

小6 **88.2%**
(全国比+3.1)

中3 **76.0%**
(全国比+3.6)

自分には よいところがある

小6 **89.3%**
(全国比+5.3)

中3 **86.2%**
(全国比+7.4)

人の役に立つ 人間になりたい

小6 **95.8%**
(全国比+0.6)

中3 **95.8%**
(全国比+0.9)

～浜松市の子供のよいところ～

(児童・生徒質問紙の各項目に対して、肯定的に答えた児童・生徒の割合)

【調査結果から】

児童・生徒質問紙調査の結果において、浜松市では「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」と考える子供の割合が、全国平均を上回りました。家庭、地域、学校が連携・協働することにより、浜松市の目指す子供の姿である「夢と希望を持ち続ける子供」「これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」「自分らしさを大切にする子供」が育まれていることが分かります。

また、教科に関する調査においては、中学校の全ての教科で全国の平均正答率を上回りました。小学校の国語B、算数B、理科は、概ね全国と平均正答率は同じでしたが、国語A、算数Aは下回る結果となりました。

今後も浜松市では、結果を踏まえて成果と課題を明確にし、調査結果の活用による指導の改善、充実に向けた取組を進めていきます。

小学校 (6年) 平均正答率 (%)					
教科	国語		算数		理科
	A	B	A	B	
浜松市	69	55	61	51	60
静岡県	69	56	63	51	60
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

中学校 (3年) 平均正答率 (%)					
教科	国語		数学		理科
	A	B	A	B	
浜松市	78	64	68	49	69
静岡県	78	63	68	49	68
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

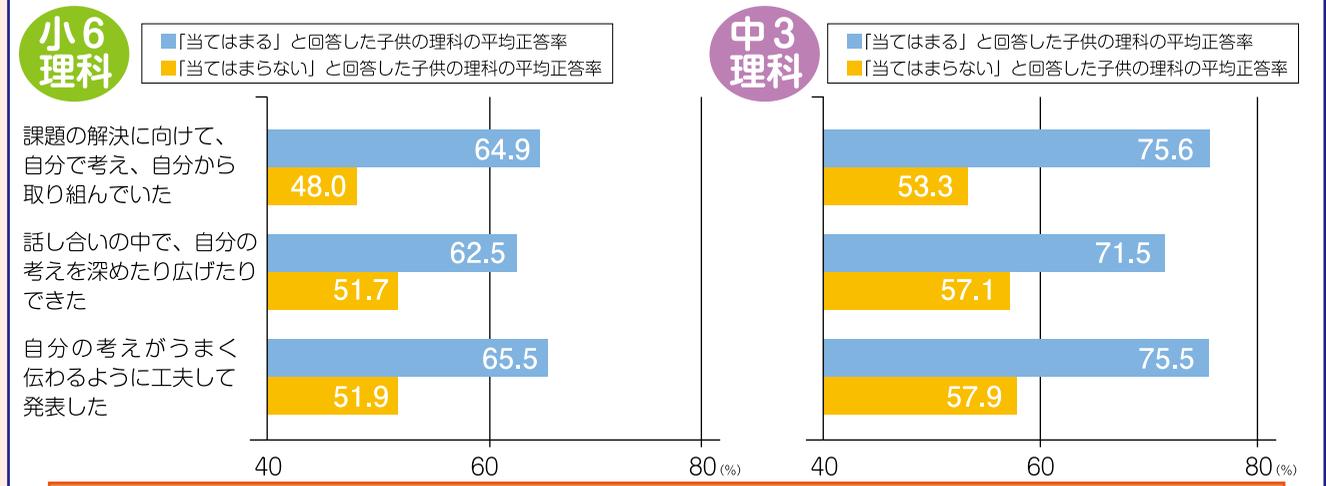
※A…主として「知識」に関する問題 B…主として「活用」に関する問題

※平均正答率は、文部科学省結果公表数値(都道府県・指定都市は小数点以下第1位を四捨五入した数値)による。

児童・生徒質問紙から見える 浜松市小・中学校 授業の特徴

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「話し合いの中で、自分の考えを深めたり広げたりできた」「自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表した」と答えた子供ほど、正答率が高くなっています。全ての調査教科において同様の傾向が見られます。

児童・生徒質問紙の各項目と調査教科の平均正答率との関係



子供たちの実態を踏まえ、このような授業でさらに力を伸ばします

- 課題の設定や学習過程を一層工夫し、子供が知識を活用しながら学習したり、学びの成果を自覚したりすることができるような機会を増やしていくことで、**子供が主体的に学び、各教科等を学ぶ意義が理解できるようにしていきます。**
- 具体的な学習活動や学習形態、学習環境を工夫することにより、**子供の対話的な学びの質を高めていきます。**

平成31年度より全国学力・学習状況調査が変わります

① 中学校調査の調査教科に英語が加わります

平成31年度に実施する調査から、3年に一度程度、中学生の英語力（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）を測定する調査が実施されます。

以下は、平成30年度実施の予備調査において、パソコンに音声吹き込み形式で行われた「話すこと」の問題の例です。（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」は、記述・マークシート形式で行われました。）

あなたは英語の授業で、シンガポールの姉妹校の生徒と、テレビ電話でお互いの学校を英語で紹介することになりました。1分間、自分の学校について紹介する内容を考えた後、30秒で紹介します。画面にある例を参考にしてください。これらの内容以外のことや、一部だけについて紹介しても構いません。それでは、1分間、内容を考えましょう。



紹介する内容の例

- 学校のある場所や地域
- 部活動
- 学校行事
- 先生や生徒 など

※これら以外のことや、一部だけを紹介してもよい



※国立教育政策研究所 HP より引用

② 国語と算数・数学が、知識・活用を一体的に問う調査問題に変わります

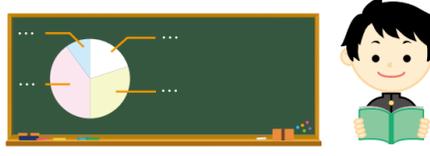
教科等の目標や内容について再整理された「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力は相互に関係し合いながら育成されるものである、という新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、これまで行われてきた、主として「知識」に関する問題（A問題）と、主として「活用」に関する問題（B問題）という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題に変わります。

理科についてはこれまで通り、3年に一度程度調査が実施されます。（次回は平成33年度実施予定）

国語 成果

〈小・中学校〉
◎資料と対応させながら文章を読むことができています。

設問例
【小・B3-1】目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。
【中・B1-1】文章とグラフとの関係を考えて内容を捉える。



問題

【ノートの一部】の「ア・イ」の一線部と同じ漢字を使って書く文として適切なものを選択肢から選ぶ。(小学校 国語A)

【ノートの一部】
○調理場には、生地を練る機械など、せい造に必要な せつ備がある。

答え

ア 1 せい|限時間に気を付ける。
2 新しい品の価格を調べる。
3 道具箱の中をせい|理する。

イ 1 新しい規則をもつける。
2 劇のやくの希望を聞く。
3 遠くへボールをなげる。

課題

〈小学校〉
◎言語についての知識・理解・技能が不十分です。

「製造」と同じ漢字を使う熟語はどれ？

製造
せい|限
新しい品
せい|理

漢字を文の中で正しく使う。(国語A)

〈中学校〉
◎情報を整理し、内容を正確に捉えることに課題が見られます。

理由は、どの段落に書いてあるんだろう？

⑦⑥⑤④③②①
段段段段段段
落落落落落落

「天地無用」を誤った意味で受け取る人が多い理由が書いてある段落を探して、まとめる。(国語B)

改善に向けて

授業例

習得した言葉を活用する

習得 → 活用

言葉「さすががしい」
意味 ①さわやかで気持ちがよい
②ためらいがなく思い切りがよい

例文
今日は、空気がすんでいてさすががしい。

国語科「書くこと」に関する学習
特別活動の振り返り等
総合的な学習のまとめ等

マラソン大会で完走したほくは、さすががしい気持ちだった。

教科書にあった「さすががしい」という言葉を調べました。

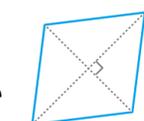
算数・数学 成果

〈小学校〉
◎「数と計算」領域における基本的な知識が概ね定着しています。

設問例
【A1(2)】針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さがそれぞれ数直線上のどこに当てはまるか選ぶ。

〈中学校〉
◎基本的な図形の性質の理解ができています。

設問例
【A4(1)】ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ。



問題

混みぐあいを求めるために計算した答えから分かることを選択肢から選ぶ。(小学校 算数A)

Ⓐ	8m ²	Ⓔ	5m ²
---	-----------------	---	-----------------

すわっている人数とシートの面積

	人数(人)	面積(m ²)
Ⓐ	16	8
Ⓔ	9	5

Ⓐ 16÷8=2 Ⓔ 9÷5=1.8

1 1m²あたりの人数は2人と1.8人なので、Ⓐのほうがこんでいる。
2 1m²あたりの人数は2人と1.8人なので、Ⓔのほうがこんでいる。
3 1人あたりの面積は2m²と1.8m²なので、Ⓐのほうがこんでいる。
4 1人あたりの面積は2m²と1.8m²なので、Ⓔのほうがこんでいる。

答え

課題

〈小学校〉
◎異なった2つの量の関係として捉えられる数量の比べ方や表し方の理解が不足しています。

2つのシートの混みぐあいを比べる。(算数A)

〈中学校〉
◎数学用語の適切な理解に課題が見られます。

絶対値が6である数をすべて書きなさい。
一次関数 $y=2x+7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求めなさい。

「絶対値」「増加量」など、数学用語を使って書かれた問題に答える。(数学A)

改善に向けて

授業例

数学用語を用いて、深まった考えを記述する

9/9 (め)こみぐあいは、どのようにしたら比べられるのかな。

人数(人)	面積(m ²)
9	6
8	4

考え方①
面積を1m²にそろえる
人数÷面積
① 9÷6=1.5
1m²に1.5人
② 8÷4=2
1m²に2人
だから②の方がこんでいる

考え方②
人数を1人にそろえる
面積÷人数
③ 6÷9=0.6...
1人に約0.6m²
④ 4÷8=0.5
1人に0.5m²
だから④の方がこんでいる

問題
アとイはどちらがこんでいるといえますか。
人数が面積のどちらかがそろえられないか。

見直し
人数が面積のどちらかがそろえられないか。

こみぐあいを比べるには
面積を1m²にそろえるために面積でわる。
面積でわると1m²あたりで比べられる。
1m²あたりの人数の多いほうがこんでいる。

今日、学習したことをもう一度、自分の言葉で書いてみたよ。

わたしは1人あたりで考えた。1m²あたりだと...

理科 成果

〈小学校〉
◎学習したことを、自然や生活の場面に当てはめて用いることができています。

設問例
【4(3)】食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ。

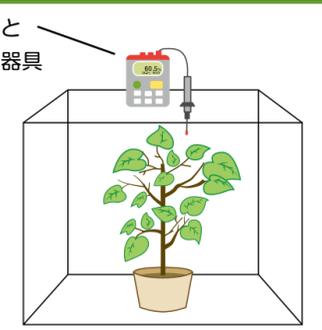
〈中学校〉
◎学習した知識・技能を他の問題の解決に活用することができています。

設問例
【1(2)】光の道筋を検討して改善し、適切な道筋を説明する。

問題

植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘する。(中学校 理科)

容器の中の温度と湿度を測定する器具



答え

(例)
土から水が蒸発して、水蒸気となった。



容器中の湿度が高くなる要因を考える問題において、水蒸気が発生する場所等、原因として考えられる要因を見いだせない子供が見られました。

課題

〈小学校〉
◎結果を見通して、実験を計画することに課題が見られます。

友達
モーターから戻ってくる時は電気の量は減っていると思うよ。

検流計①
検流計②

友達の予想が正しいとした時の2つの検流計の針の振れ方について予想する。

〈中学校〉
◎変化することの要因や条件を考え、実験を計画することに課題が見られます。

水蒸気が植物から出ただけで湿度が37%から88%に上がるの？

植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘する。

改善に向けて

授業例

変化することの要因を検討し、実験を計画する

蒸散だけで湿度が変化するとは言い切れないんじゃない。

土がしめついているよ。

植木鉢の受け皿にも水がある。方法を見直そう。

実験を計画する際、自分や友達の実験結果について見通す場面を設けていきます。

実験を計画する際、変化することの原因として考えられる要因を検討したり、実験を行う時の条件について話し合ったりする活動を充実させていきます。



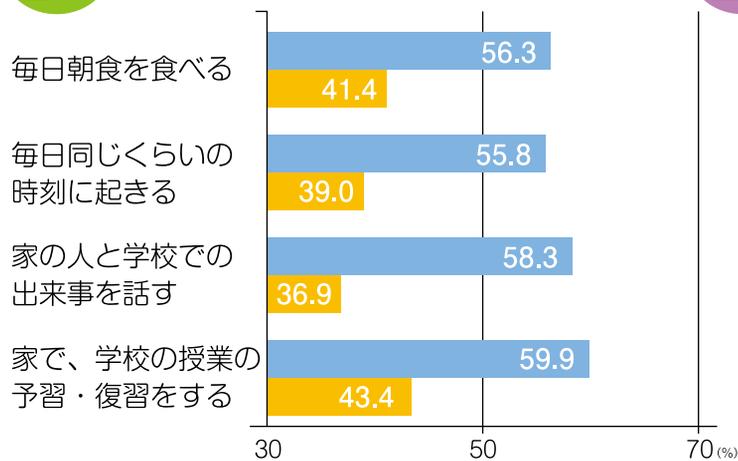
基本的な生活習慣や学習習慣が身に付いている子供ほど正答率が高くなっています。また、勉強時間をきちんと確保できている子供ほど正答率が高くなる傾向にあります。特に、1時間以上勉強する子供と、全くしない子供との差が大きくなっています。全ての調査教科において同様の傾向が見られます。



児童・生徒質問紙の各項目と調査教科の平均正答率との関係

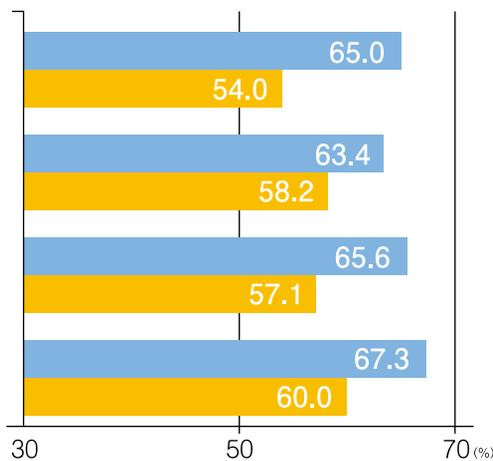
小6
国B

■「当てはまる」と回答した子供の国語Bの平均正答率
■「当てはまらない」と回答した子供の国語Bの平均正答率



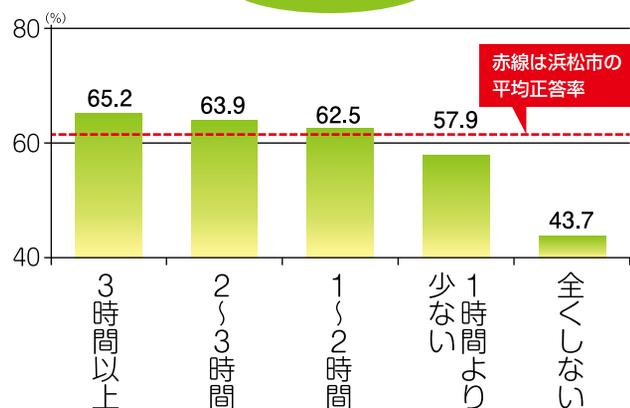
中3
国B

■「当てはまる」と回答した子供の国語Bの平均正答率
■「当てはまらない」と回答した子供の国語Bの平均正答率

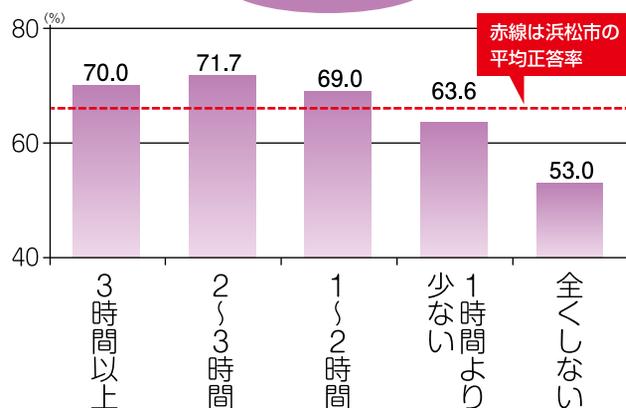


普段(月～金曜日)、学校の授業時間以外で1日あたりに勉強する時間(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)と、調査教科の平均正答率との関係

小6 算A



中3 数A



家庭と学校が一緒になって、子供の9年間の育ちと学びを支えていきましょう

親子でチェックし、結果をもとに話し合ってみましょう。



家の人のチェック
 子供が色をぬろう

家の人

こども
子供



はやね

はやお

こころ

あさ

た

いつも「早寝」「早起き」を心がけ、朝ごはんをきちんと食べている。

がっこう できごと いえ ひと はなし
学校での出来事について家の人と話をしている。

いえ がっこう しゅくだい じゅぎょう よしゅう ふくしゅう と く
家で、学校の宿題や授業の予習・復習に取り組んでいる。

いちにち せいかつ なか がくしゅう と く じかん
一日の生活の中で、学習に取り組む時間をつくっている。

※本リーフレットや過去のリーフレットをお知りになりたい場合は、次のホームページへアクセスしてください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shido/kyouikusesaku/jyugyoukaizen/gakuryoku.html>